

2022年9月期
決算説明資料

日本エコシステム株式会社

くによく

証券コード：9249

当期も増収増益・過去最高益を達成 17期連続の営業黒字

- ▶ 機器設置・設備工事、水循環システムの受注増加、堅調に推移
- ▶ M&A：交通インフラ事業で1件実行（2023年9月期も積極的に推進）
- ▶ 本社入居・賃貸ビルの建替えを決議（2024年8月予定、主要テナント・当社一部入居）

通期トピックス

1Q			2Q			3Q			4Q		
2021			2022			2022			2022		
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
<p>IR 11月26日 決算説明資料</p> <p>ニュース 12月22日 当社製品マロックス®シリーズ 米国特許登録</p> <p>IR 12月23日 第24期 有価証券報告書</p> <p>ニュース 12月27日 エコカー通勤優良事業所に認定</p>	<p>IR 1月20日 子会社化に関する基本合意書 締結（日新ブリッジエンジニアリング）</p> <p>ニュース 1月31日 原油スラッジ処理に関する 特許登録</p> <p>ニュース 2月8日 碧南市海浜水族館 展示水槽改修案件の落札</p> <p>IR 2月10日 第1四半期決算短信</p> <p>ニュース 3月10日 健康経営優良法人に認定 ※2年連続</p>	<p>ニュース 4月27日 スマートアクアリウム静岡 開設</p> <p>IR 5月12日 第2四半期決算短信、決算説 明資料、上場記念・中間配当</p> <p>ニュース 5月23日 独立行政法人日本学生機構 発行のソーシャルボンドへ投資</p> <p>ニュース 6月17日 愛知県豊田市へ新規事業所 開設</p> <p>ニュース 6月23日 サウナショールーム開設</p>	<p>ニュース 7月1日 みなとやま水族館開設</p> <p>ニュース 7月11日 GREEN×GLOBE Partners 運営サポートパートナー締結</p> <p>IR 8月8日 第3四半期決算短信 決算説明資料</p> <p>ニュース 8月30日 AICHI MATCHING 2022へ 参画</p> <p>IR 9月1日 名証IRエキスポ2022への 出展</p>								

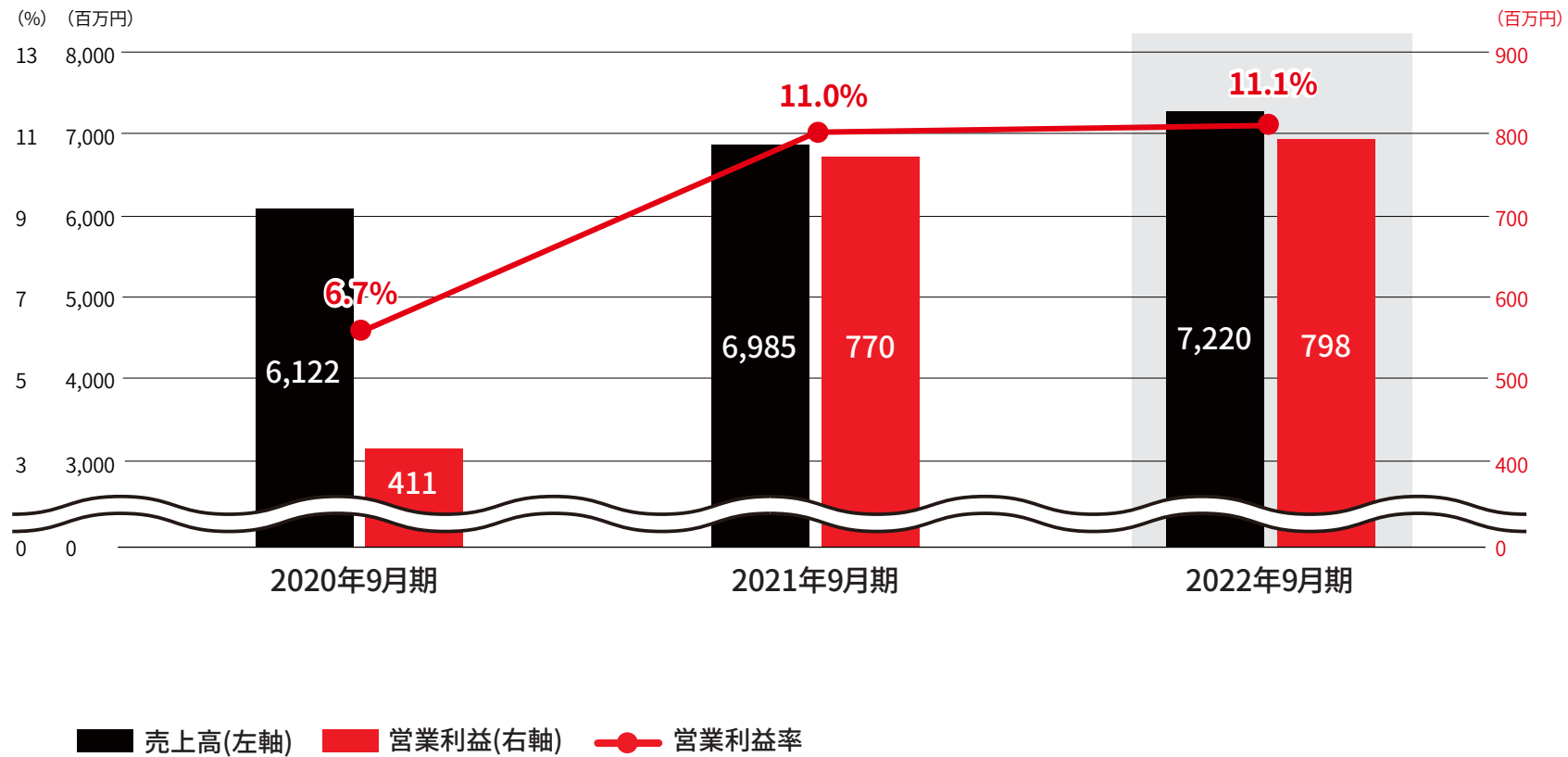
I	2022年9月期 業績	4P
II	2023年9月期 業績予想	12P
III	2022年9月期(～11/14時点含む) トピックス	18P
IV	賃貸ビルの建替え	30P
V	サステナビリティ・CSR	33P
VI	Appendix	37P
VII	会社概要	47P

I 2022年9月期 業績

売上高・営業利益の推移



2022年9月期は前年比で**増収増益**を達成
営業利益率は前年比同様、堅調に推移



損益計算書サマリー



(単位：百万円)

	2021年9月期実績	2022年9月期実績	対前年比	(参考) 通期予想 21/11/12公表時点※
売上高	6,985	7,220	103.4%	7,034
営業利益	770	798	103.7%	810
経常利益	801	856	106.9%	831
親会社株主に 帰属する 当期純利益	571	386	67.7%	588

※ 当初業績予想を2022年11月2日に修正しておりますが、上記表では、修正前の当初計画を参考として記載しております。

売上高の主な増加要因

- 産業用太陽光発電設備の高額工事受注増
- 空調衛生設備工事受注増
- 水循環システム(水族館等)の需要増
- 公営競技施設の機器設置工事受注増

当期純利益の主な増減要因

- 株式会社日新ブリッジエンジニアリングを完全子会社化したことに伴う特別損失計上
- 日本ベンダーネットで収益性の低下による固定資産の減損が発生
- 本社入居・賃貸ビルの建替え決議に伴う減損処理実施

セグメント業績の推移

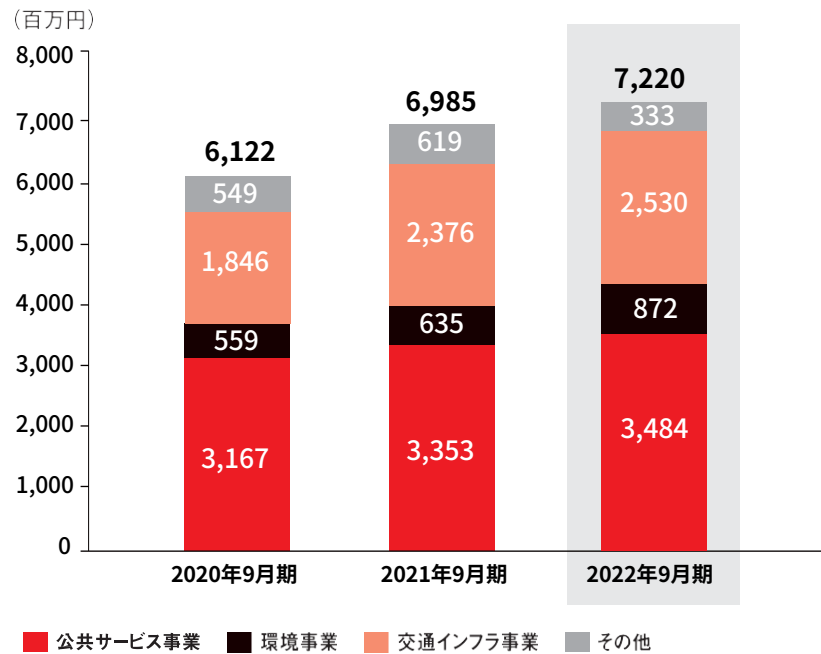


公共サービス事業は
TZS機器設置工事、電気空調設備
工事等の高い利益率の工事売上構
成比が増加

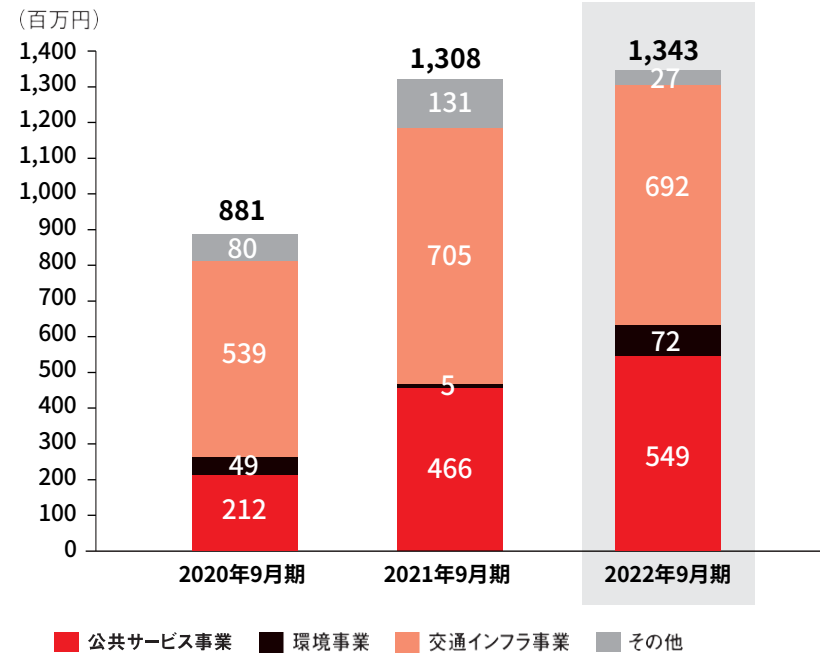
環境事業は
水循環システムを含めたトータル
エンジニアリングの実績が順調に
推移

交通インフラ事業は
メンテナンス、エンジニアリン
グともに、継続的かつ安定的に業
績に寄与

売上高



セグメント利益



セグメント別実績

公共サービス

機器設置・設備工事の受注増加・堅調に推移

前年比

売上高 : 3,484百万円 103.9%
営業利益 : 549百万円 117.8%



環境

水循環システムの実績が順調に推移

前年比

売上高 : 872百万円 137.2%
営業利益 : 72百万円 1391.9%



交通インフラ

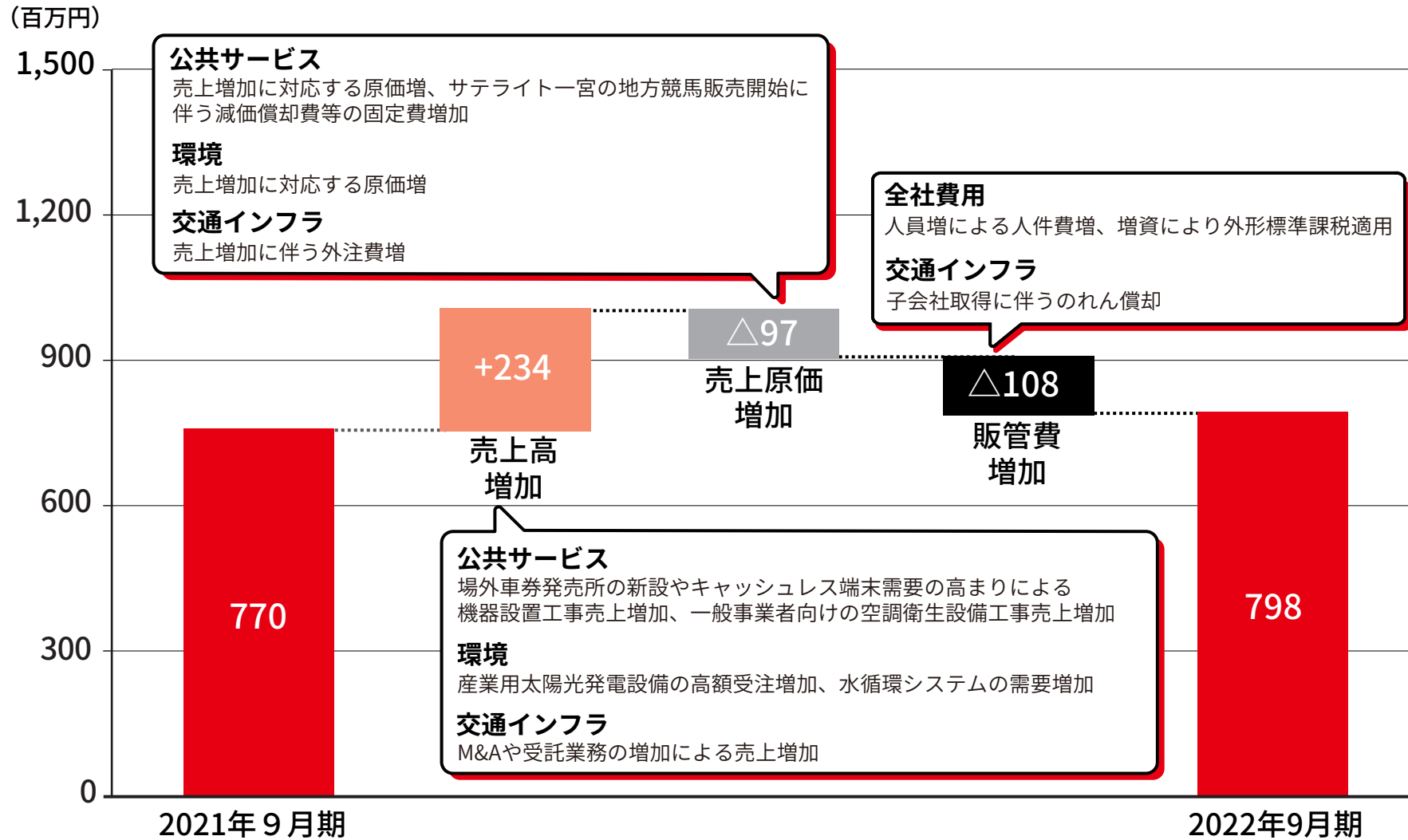
子会社取得等により過去最高売上を更新

前年比

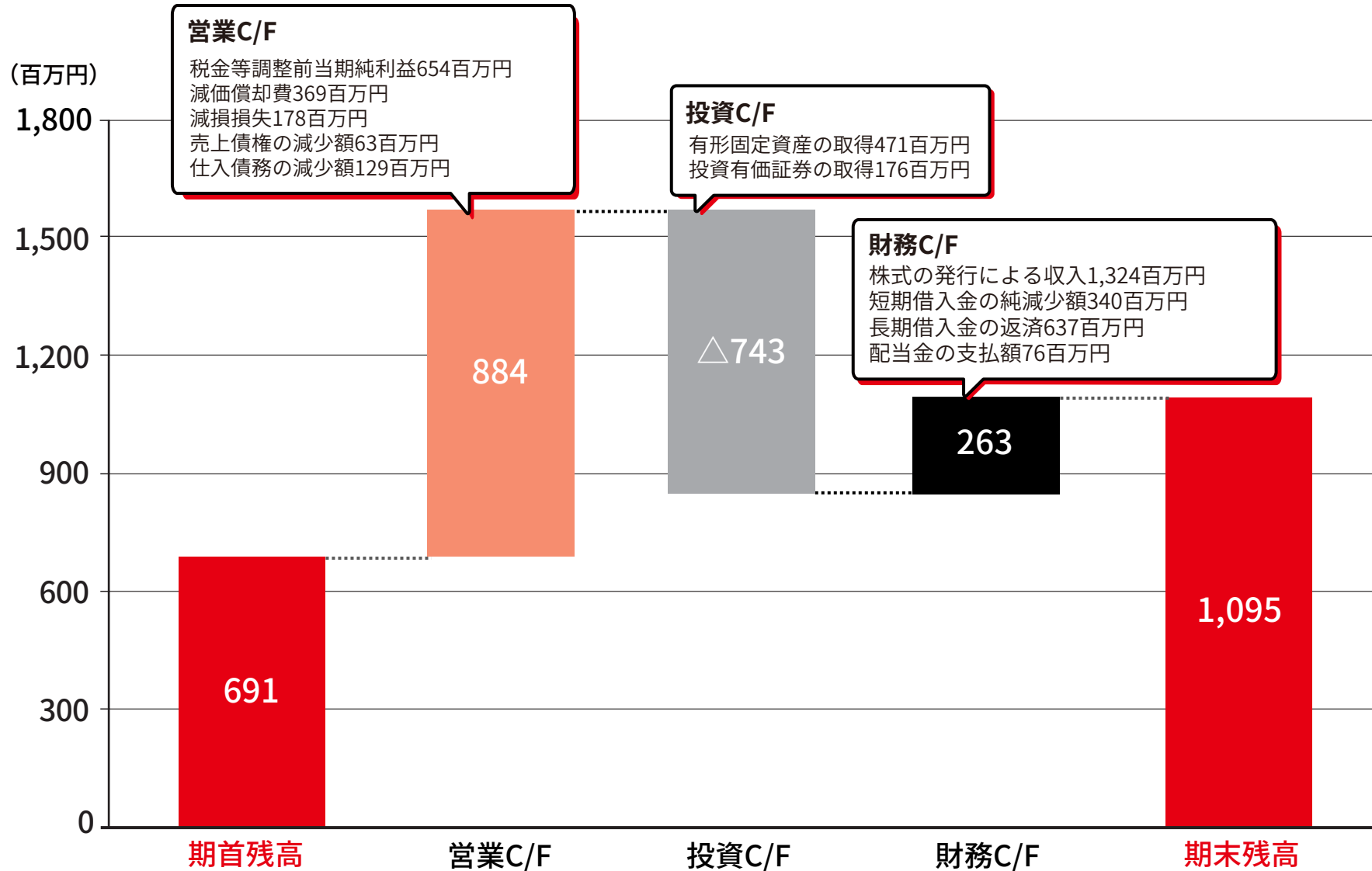
売上高 : 2,530百万円 106.4%
営業利益 : 692百万円 98.3%



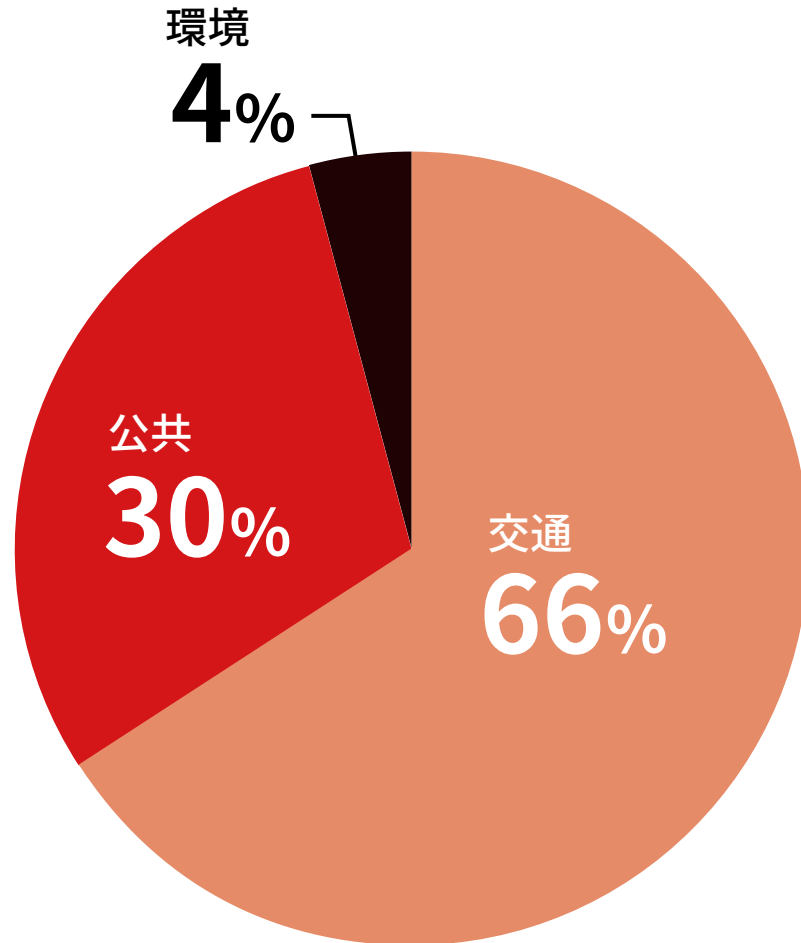
営業利益の増減要因分析



キャッシュフローの状況



2022年9月期 投資実績



■ 交通インフラ **311** 百万円
点検・工事車両の取得
豊田事業所の新設

■ 公共サービス **140** 百万円
地方競馬場外発売所オープンに伴う機器等
投票端末機のシステム更新

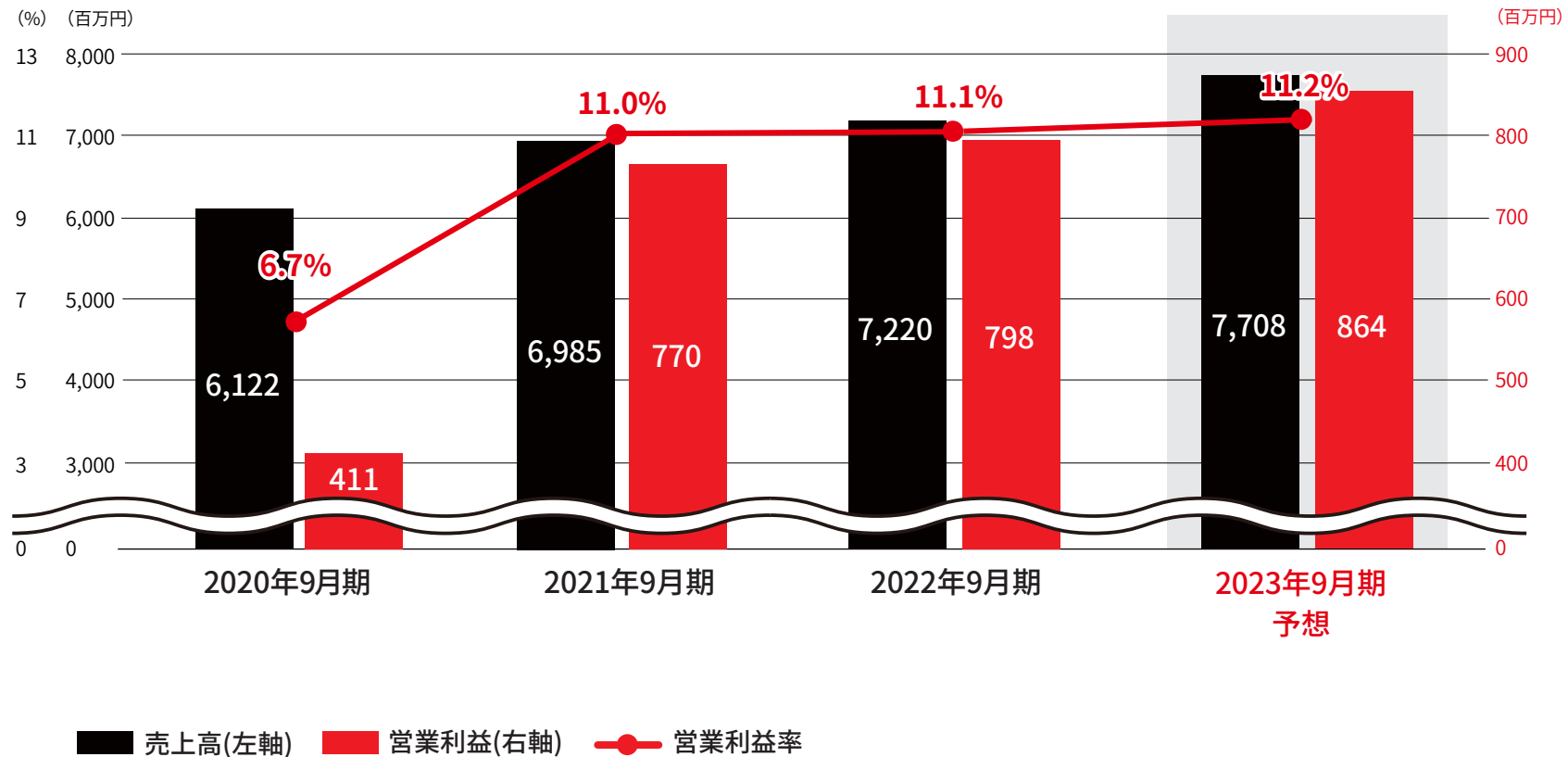
■ 環境 **18** 百万円
試験装置等の取得

II 2023年9月期 業績予想

売上高・営業利益の推移予想



2023年9月期は前年比で**増収増益**の見通し
3期連続で増収増益の見込み



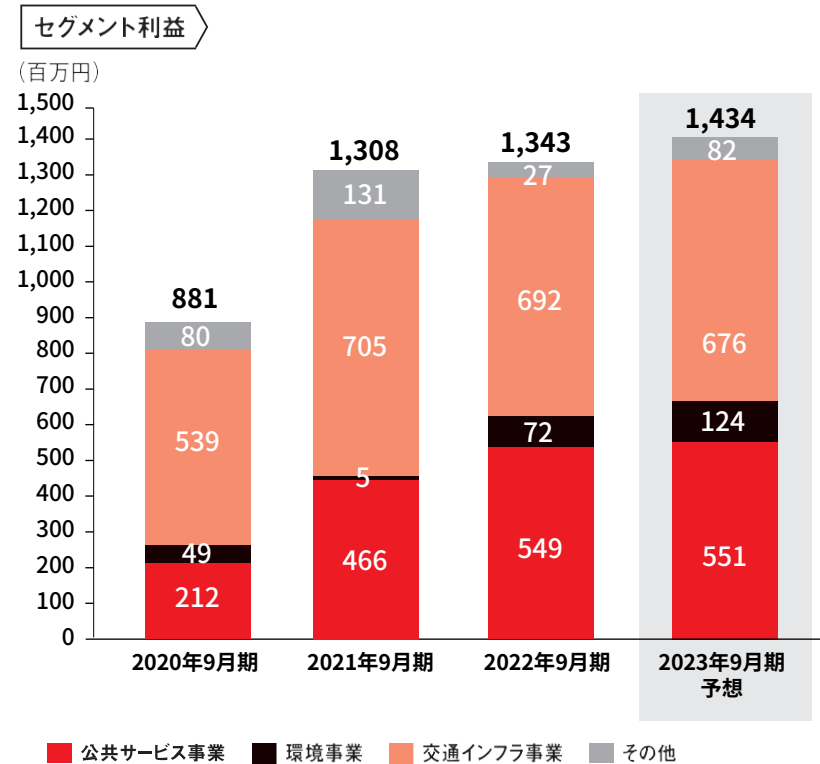
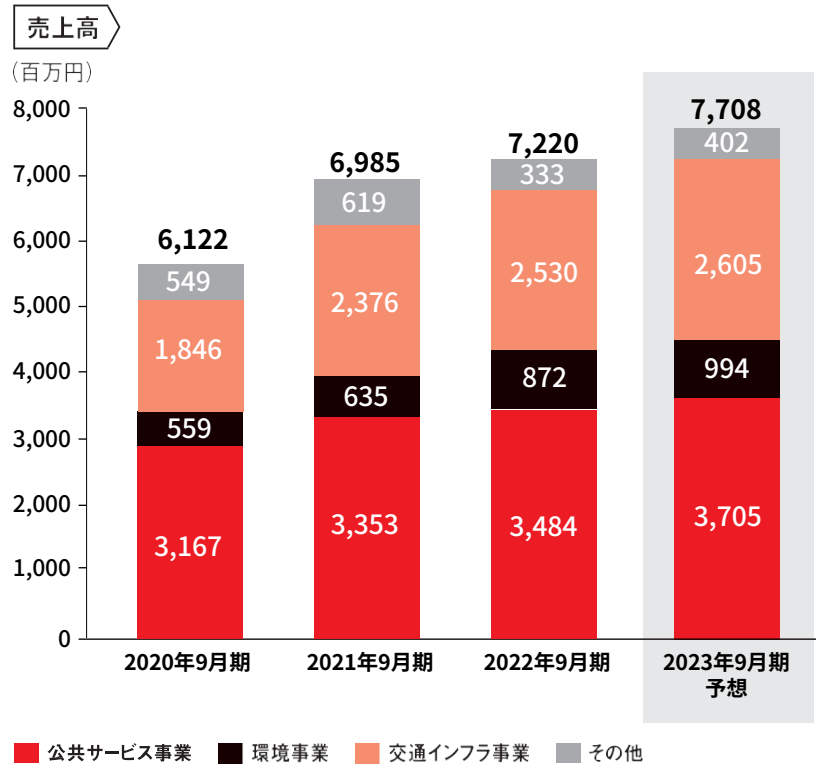
セグメント業績予想



公共サービス事業は
オー・ティー・エス技術サービス
子会社化による売上増加及び安定
したセグメント利益の確保

環境事業は
排水処理及び水循環システムの受
注増に伴う売上増加によるセグメ
ント利益への寄与

交通インフラ事業は
日新ブリッジエンジニアリングの
通期業績寄与による売上増加及び
安定したセグメント利益の確保

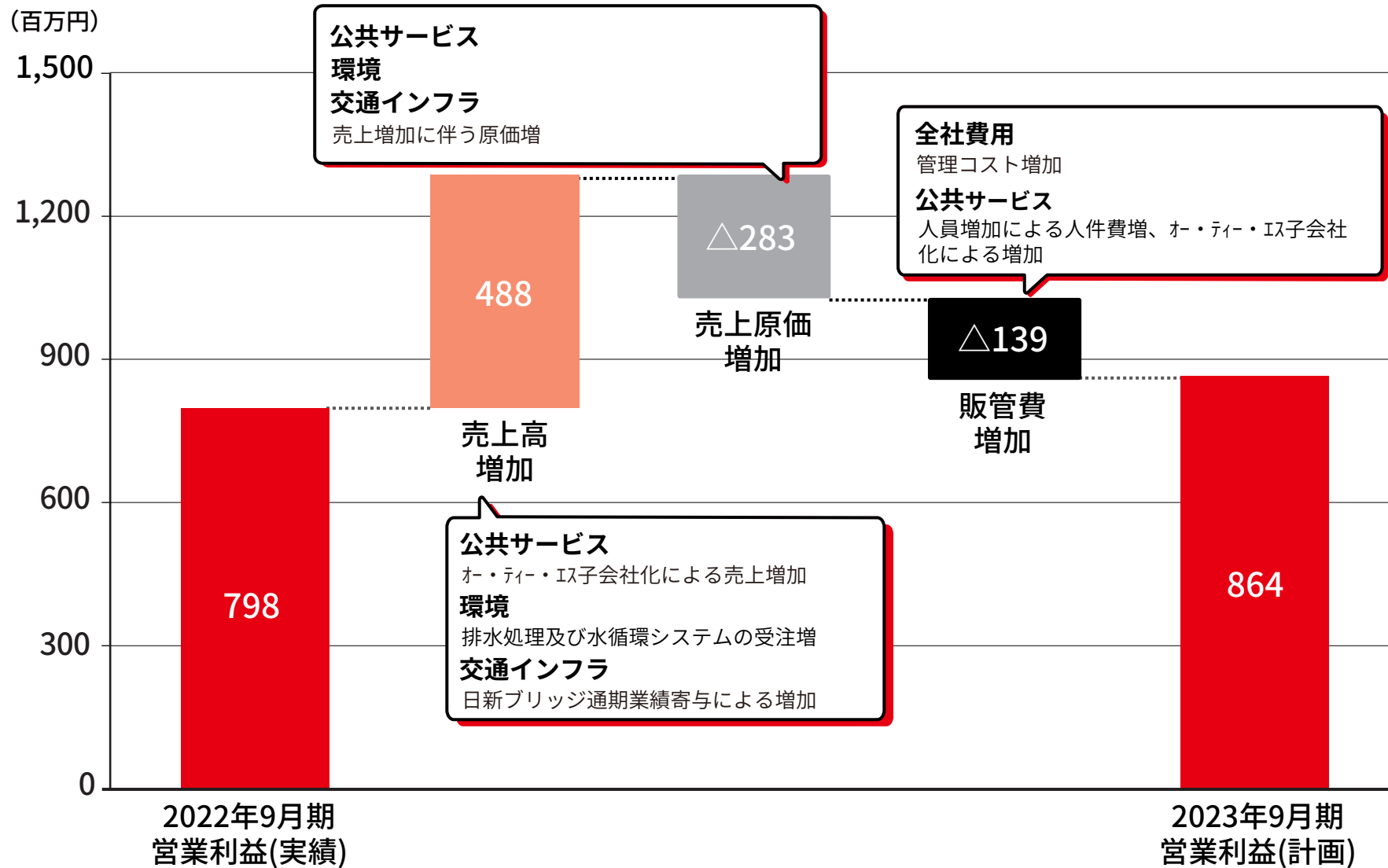


セグメント別実績・予想



	2022年9月期 通期実績	2023年9月期 通期予想	売上高 前期比
公共サービス	売上高 : 3,484百万円 営業利益 : 549百万円	3,705百万円 551百万円	106.3%
環境	売上高 : 872百万円 営業利益 : 72百万円	994百万円 124百万円	114.0%
交通インフラ	売上高 : 2,530百万円 営業利益 : 692百万円	2,605百万円 676百万円	103.0%

営業利益の増減要因分析予想



株主還元



2023年9月期は、年間配当を51円/株へ増配の予定
第2四半期 中間配当を25円/株、期末配当を26円/株とし
安定性・継続性のある配当を実施してまいります

2022年9月期

期末配当	40.00円/株
中間配当	10.00円/株

年間配当	50.00円/株
------	----------

2023年9月期(予想)

期末配当	26.00円/株
中間配当	25.00円/株 ※1

年間配当	51.00円/株
------	----------

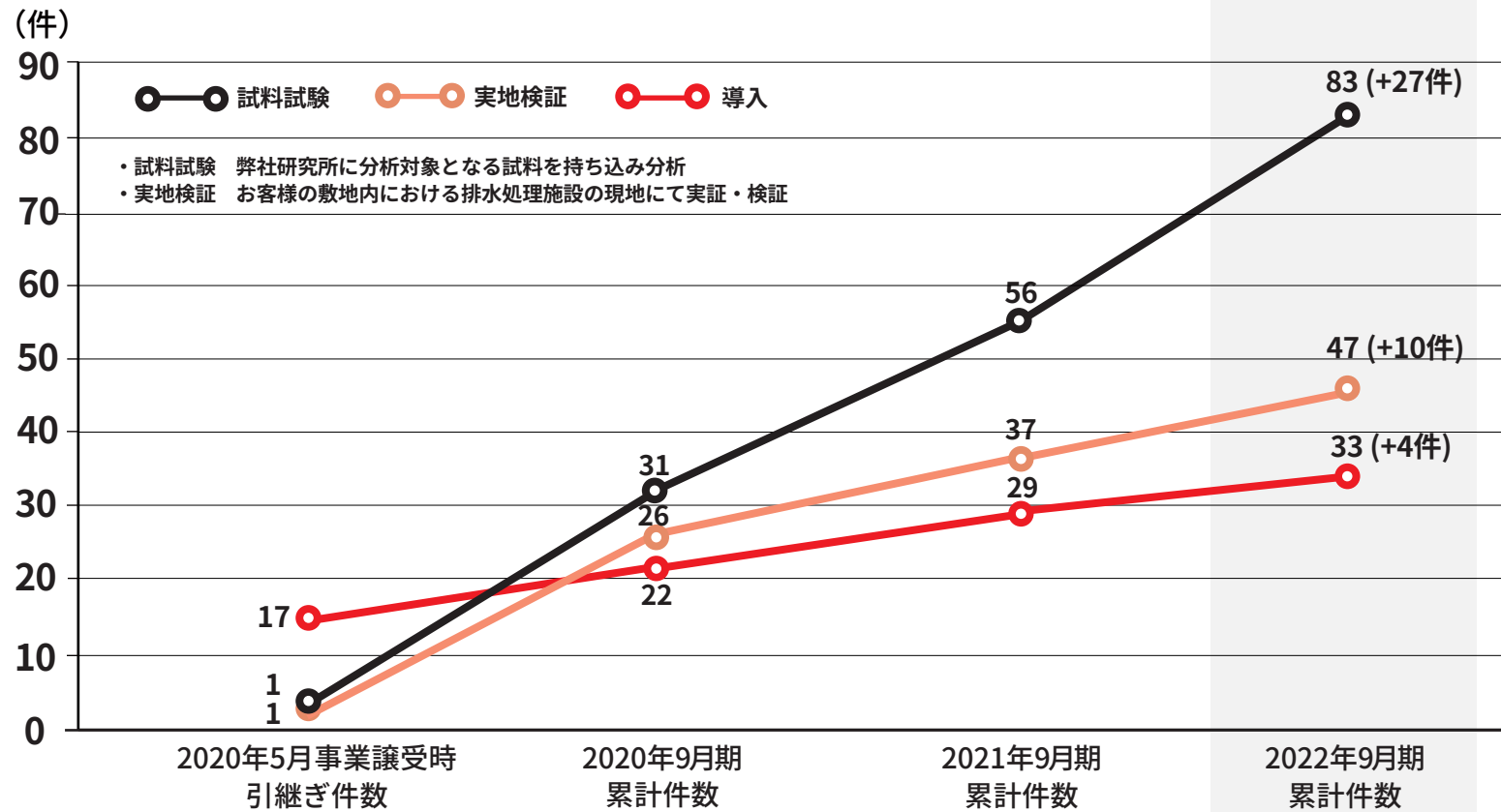
※1 2023年9月期 第2四半期

III 2022年9月期(～2022/11/14時点含む) トピックス

環境事業



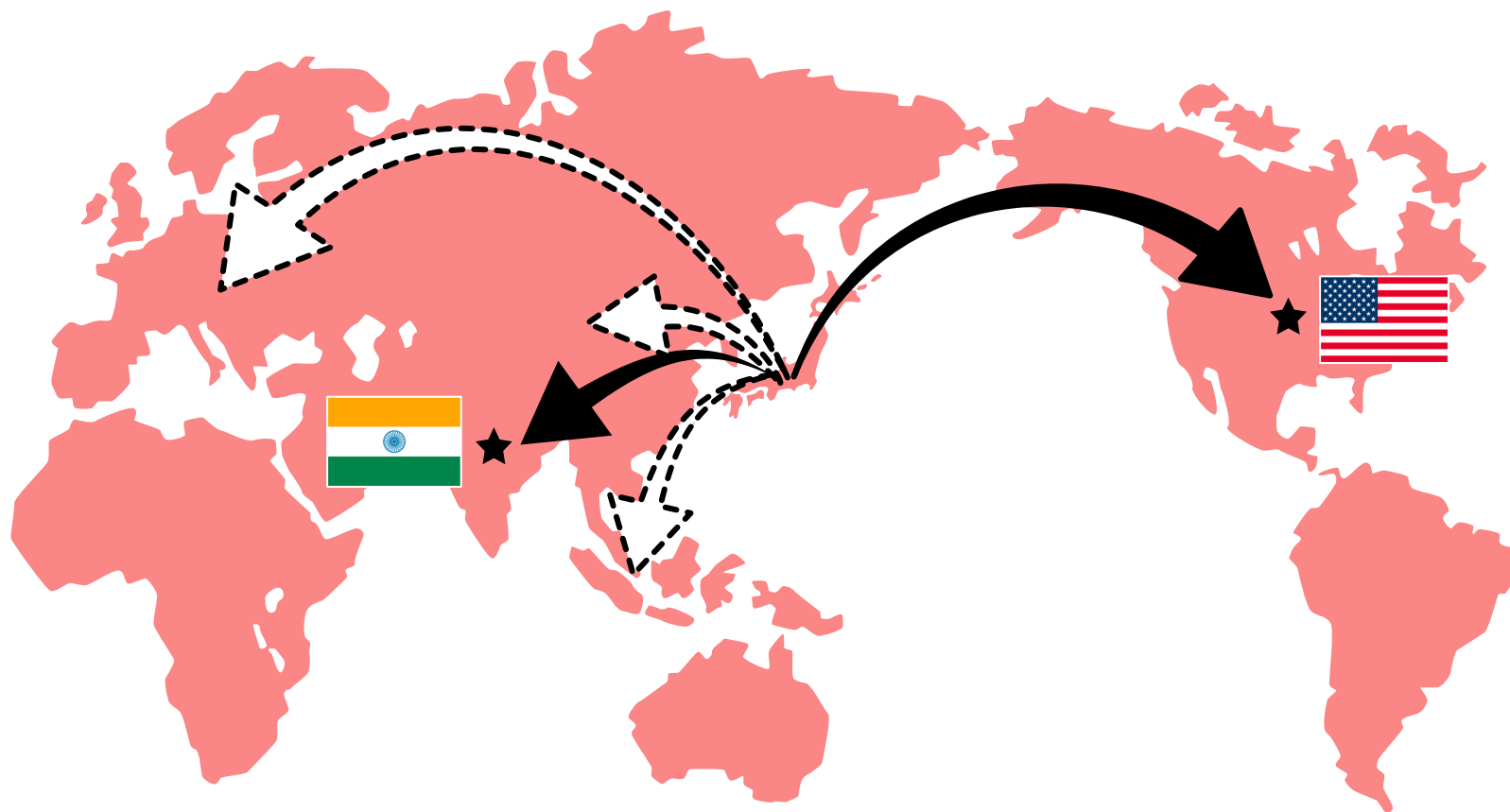
継続的な営業活動の推進により試料試験及び実地検証の件数が拡大



環境事業



当社が開発する「マロックス®シリーズ」に関するインド特許が新たに登録
海外市場開拓に向けて知財リスク対策も推進してまいります



環境事業



排水浄化処理に加え水循環利用まで含めた“水をきれいにする”トータルエンジニアリング

薬剤の導入実績

- 食品等製造工場
- 鋼製品製造工場
- 樹脂製品製造工場
- 畜産・養豚場

水循環システムの施工実績

- 宮島水族館
- スマートアクアリウム静岡
- 串本海中公園センター
- みなとやま水族館など



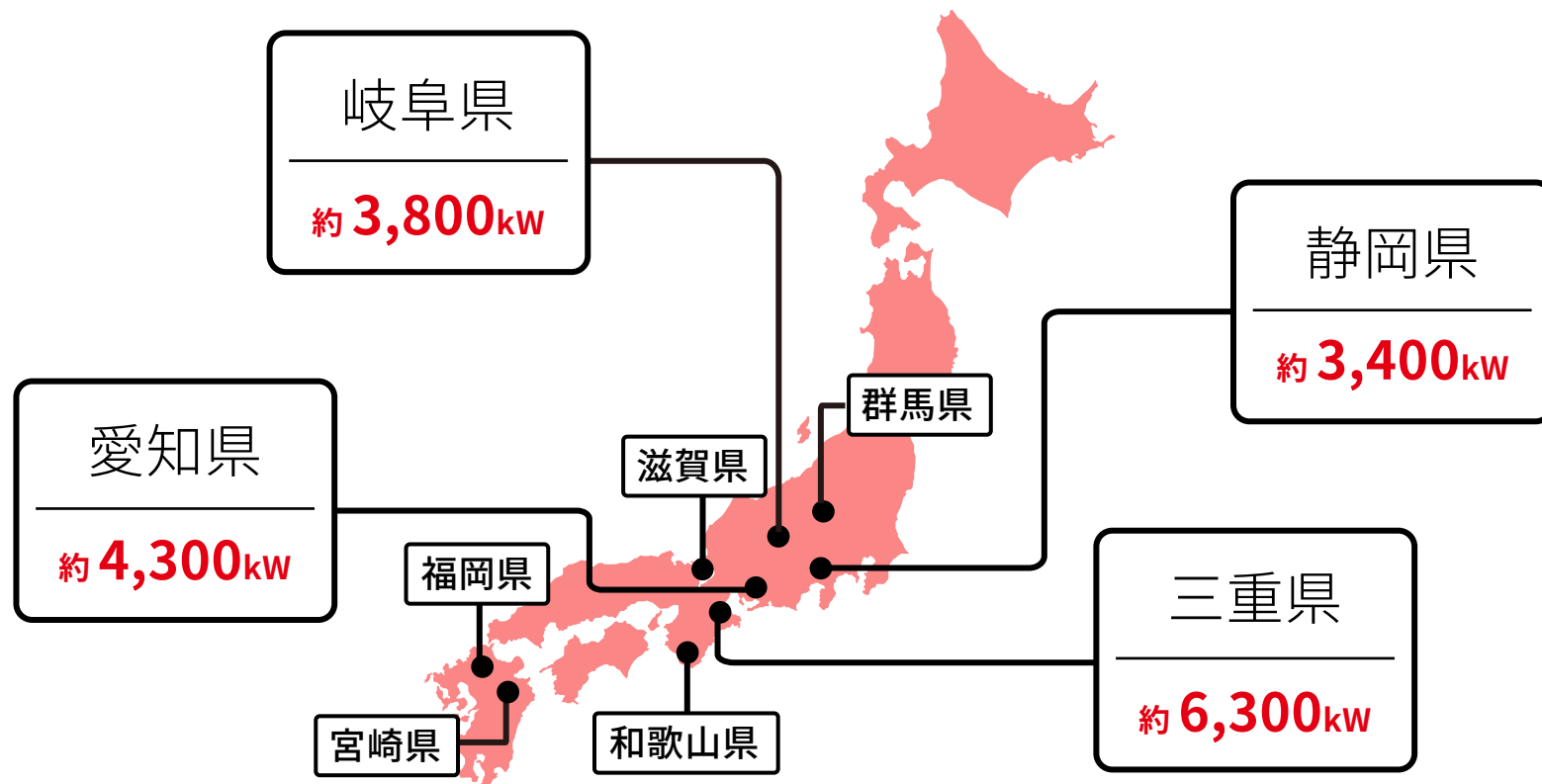
トータルエンジニアリング



環境事業



当社は、これまで数多くの産業用太陽光発電設備の販売・施工を実施
直近5年では日本各地において合計18,000kw(18メガ)を超える実績があります

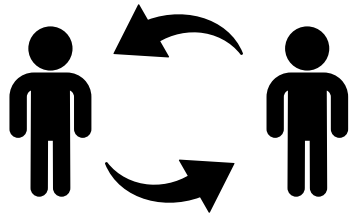


交通インフラ事業



株式会社日新ブリッジエンジニアリングの子会社化により
顧客拡大・案件増加・業務効率向上といった相乗効果を創出しています

顧客の拡大



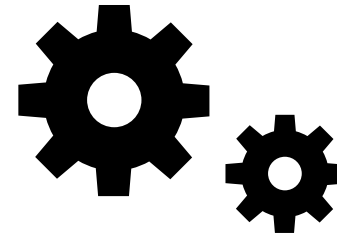
相互の顧客に
新たな価値を提供する
ことによる顧客の拡大

一括受託化



点検・作業車両・誘導員
など受託範囲の一括化
による案件数の増加

業務効率化

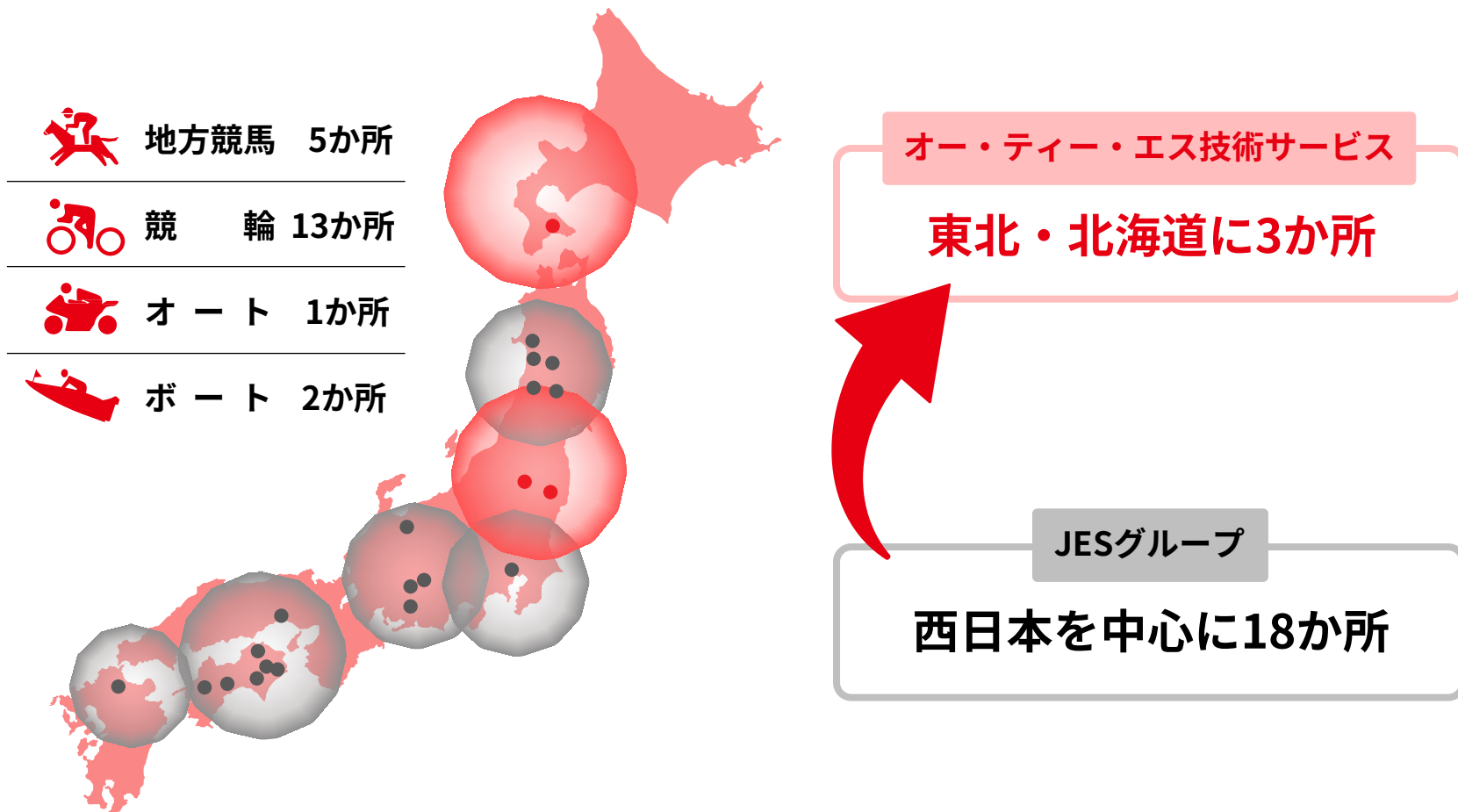


相互の強み、スケール
メリットを活かすこと
で業務効率の向上

公共サービス事業



オー・ティー・エス技術サービス株式会社を子会社化（2022年11月）
既存のエリアに加え、東日本エリアの業務が拡大・拡張いたしました



公共サービス事業



公営競技施設の運営・保守等について受託後は安定的な運営を継続中
またM&A・子会社化により2022年11月7日から3拠点の受託場が加わりました

		2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期 (’22/11/14時点)
本場 ※実際に自転車や バイクが走る競技場	包括受託 (料率売上)	—	—	※1 1場	1場	1場
	部分受託	4場	4場	3場	3場	4場
場外発売場 ※投票券を販売 するのみの施設	包括受託 (料率売上)	2場	3場	3場	4場	5場
	部分受託	11場	11場	11場	10場	11場
競技別	競輪	10場	10場	10場	10場	13場
	地方競馬	4場	4場	4場	5場	5場
	オートレース	—	1場	1場	1場	1場
	ボートレース	3場	3場	3場	2場	2場

※1 部分受託から包括委託へ契約形態を移行

※2 上表は日本ベンダーネット、サテライト一宮、オー・ティー・エス技術サービスの受託場数を合算した数値を表記

公共サービス事業



2022年8月リリース！

サテライトー宮公式アプリ

- モバイル会員証機能
- 来店スタンプ機能
- イベントカレンダー
- 座席状況確認
- お友達紹介機能等
- ニュース配信



公共サービス事業



集客拡大を目的に、芸能人や元競輪選手による予想会や会場内イベントなど公営競技ファンの注目度が高いイベントを積極的に開催しています



積極的なイベント開催

サテライト一宮にて
抽選会や有名人を起用したイベントを定期的に行い
来場者増に繋がる施策を積極的に推進しています



SNSの活用 新たな層の顧客拡大を目指してSNSでの情報発信も実施しています



instagram



twitter



公式アプリ

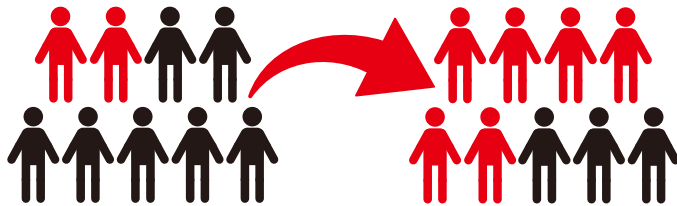
その他 名証IRエキスポへの出展



当社の課題である個人投資家様への認知度・知名度の向上を目的とし
3年ぶり開催の名証IRエキスポ2022に初出展企業として参加いたしました

認知度・知名度の向上

個人投資家様へのアプローチを目的
に説明会や個別面談を実施
当日は多くの個人投資家の皆様が
参加くださり、当社を知っていただ
く機会を設けることができました



その他 愛知県施策(マッチング事業)への参画



全国スタートアップ企業とのマッチング

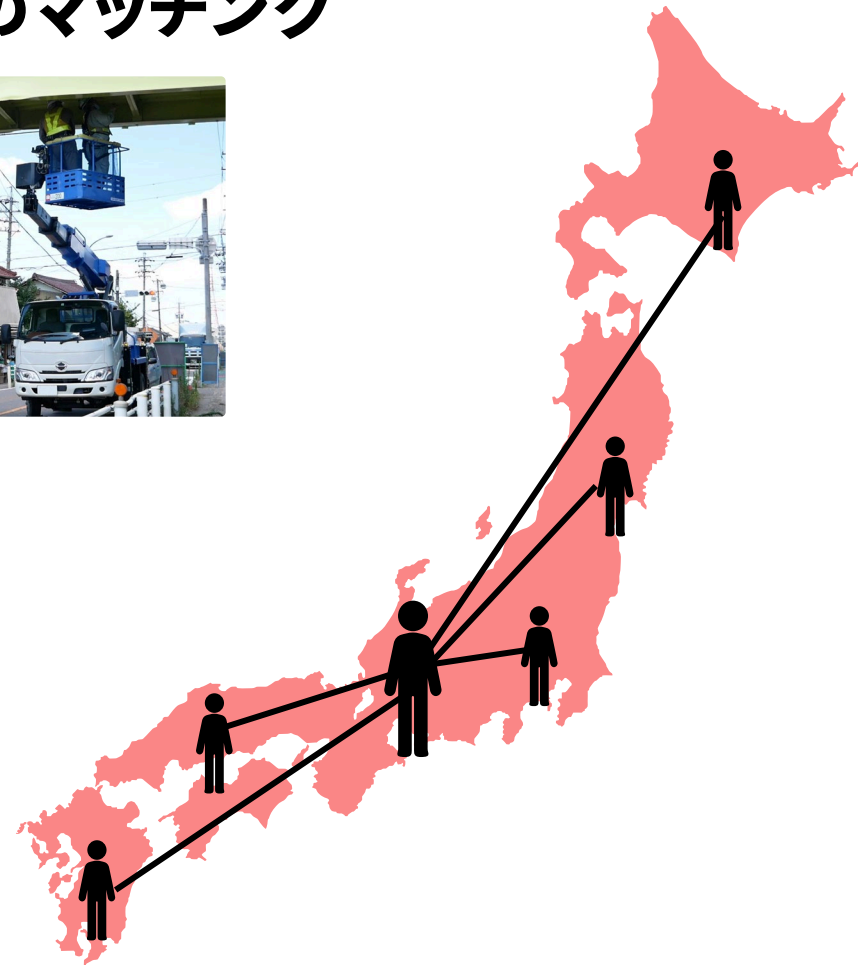


テーマ①

高所作業車による橋梁点検時の挟まれ・
接触防止警報機器等の新技術の開発

テーマ②

高所作業車使用時の近接目視点検における
点検不可能エリアの視認範囲を拡大できる
点検支援技術の開発



IV 賃貸ビルの建替え

賃貸ビルの建替え



外観イメージ



地元に根差した企業を目指して

一宮市の企業向けオフィスのランドマークとして企業を誘致し、一宮市経済の発展に寄与することで事業を通して地域に根差した企業としての活動を遂行してまいります

延床面積

9,980㎡

1,454㎡

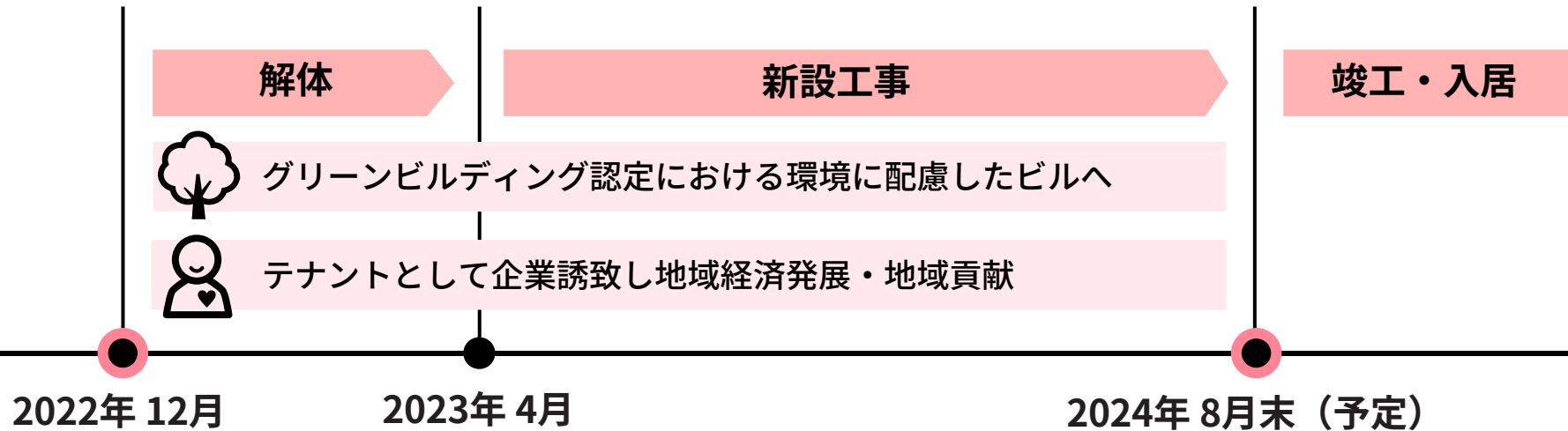
高さ

地上12階

地上5階

- 所在地：愛知県一宮市本町二丁目2番
- 完成：2024年8月予定 ■ 延床面積：9,980㎡
- 規模：地上12階、高さ約53.8m
- 主要用途：テナントフロア（一部は当社使用）

スケジュール



DBJ Green Building

グリーンビルディング認定

環境・省エネの視点に十分に配慮するため、グリーンビルディングの認証システムである米国グリーンビルディング協会が開発した、世界で最も普及している認証制度の1つである建築物の環境性能評価システム「国際環境性能認証制度LEED」の取得を目指します

水やエネルギーの効率的利用、室内環境、持続可能な資材の利用などを通じて建物や街の環境性能を評価するものです








※本ページ中の各社のロゴ・マークは各社の登録商標または商標です
 ※建築設計および建設のカテゴリ「LEED version 4 BD+C Core and Shell」を取得予定

V サステナビリティ・CSR

サステナビリティ・CSR



当社は、SDGsへの取り組みを強化し
地域の皆様とともに持続可能な社会の実現に向けた活動を推進いたします

重要課題	関連SDGs	当社の取り組み
地球環境に配慮した 排水浄化処理の普及	    	<ul style="list-style-type: none"> ■ 排水を無害化できる製品の開発・製造 ■ 排水浄化処理および水循環利用の導入促進
交通インフラ 長寿命化への貢献	   	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経年劣化した高速道路・トンネル等の補修事業の拡大
再エネの利用促進	   	<ul style="list-style-type: none"> ■ 太陽光発電設備の設置・施工 ■ 再生エネルギーの導入促進



ポジティブ・インパクト・
ファイナンス

第1号案件の契約締結

当社の企業活動におけるインパクトを
包括的に分析・評価し、名古屋銀行による
ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行

※本ページ中の各社のロゴ・マークは各社の登録商標または商標です

サステナビリティ・CSR



当社は、ソーシャルボンド・グリーンボンドへの投資を継続的に実施し
今後も社会的課題の解決、持続可能な開発目標の達成に貢献いたします

ソーシャルボンド 1件目



社会基盤である高速道路の整備と
長期保全のため、西日本高速道路株式会社が
発行するソーシャルボンドへの投資を実行

ソーシャルボンド 2件目



教育の機会均等に寄与するために、
独立行政法人日本学生支援機構が発行する
ソーシャルボンドへの投資を実行

※本ページ中の各社のロゴ・マークは各社の登録商標または商標です

サステナビリティ・CSR



当社は、公益財団法人日本ソフトボール協会に属し、生涯スポーツを支援し健康促進・維持を目指し、地域社会のスポーツ振興並びに発展に貢献しています

羽島市役所への表敬訪問



2022年8月、岐阜県羽島市役所に表敬訪問し、羽島市長より、「強化指定団体として、トップアスリートを輩出していただいており、ありがたい。引き続き羽島市及び岐阜県を代表するチームとして頑張っていたきたい。」とのお言葉をいただきました

これまでの実績

2011年 東日本リーグ準優勝

2014年 全日本クラブ選手権初優勝



VI Appendix

過去トピック 環境事業

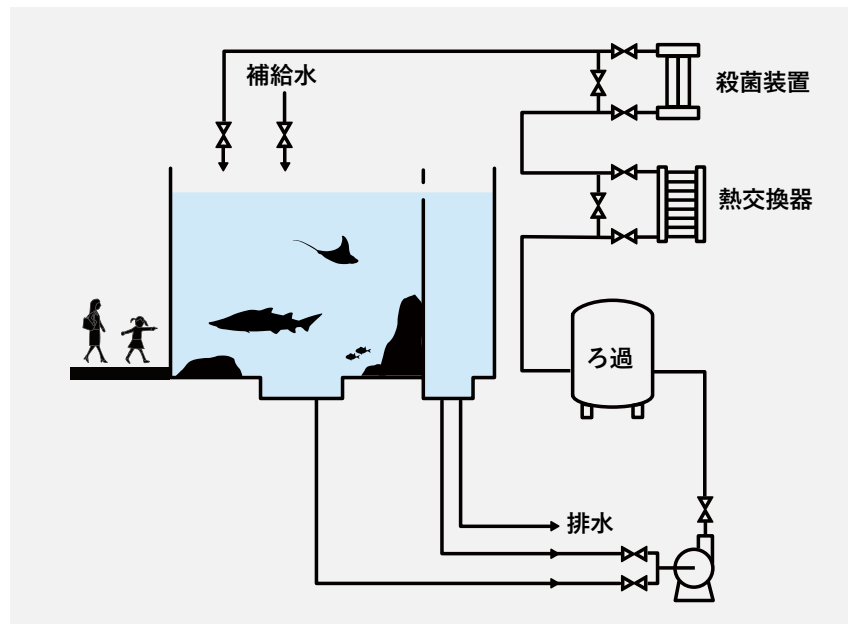


「排水浄化処理」に加え「水循環利用」まで含めた“水をきれいにする”トータルエンジニアリング

グリーン・サステナブルケミストリーに即した

[薬剤] [排水浄化処理/水循環システム] [設備]まで水をきれいにする方法をご提案

水循環システムイメージ図



水循環システム等 展示イメージ



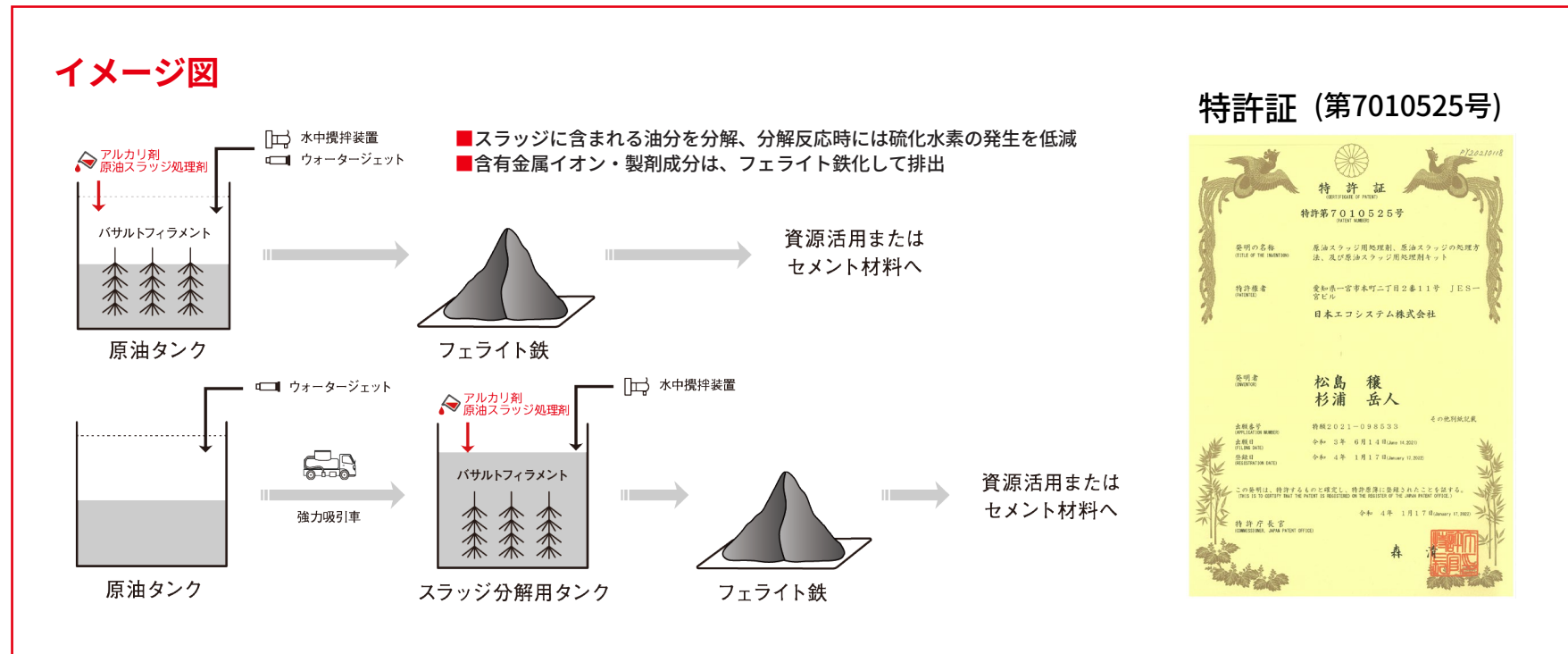
■水循環システム実績 宮島水族館、スマートアクアリウム静岡、串本海中公園センターなど

過去トピック 環境事業



積極的な研究開発による、当社独自技術の確立（原油スラッジの処理に関する特許登録）

世界的な課題となっている原油スラッジ処理において
 ガス・水・廃棄物の複数の処理に対応できる**当社独自の技術**を開発
 低コストで安全に廃棄物の削減を可能とする方法で世界的な課題解決に挑む

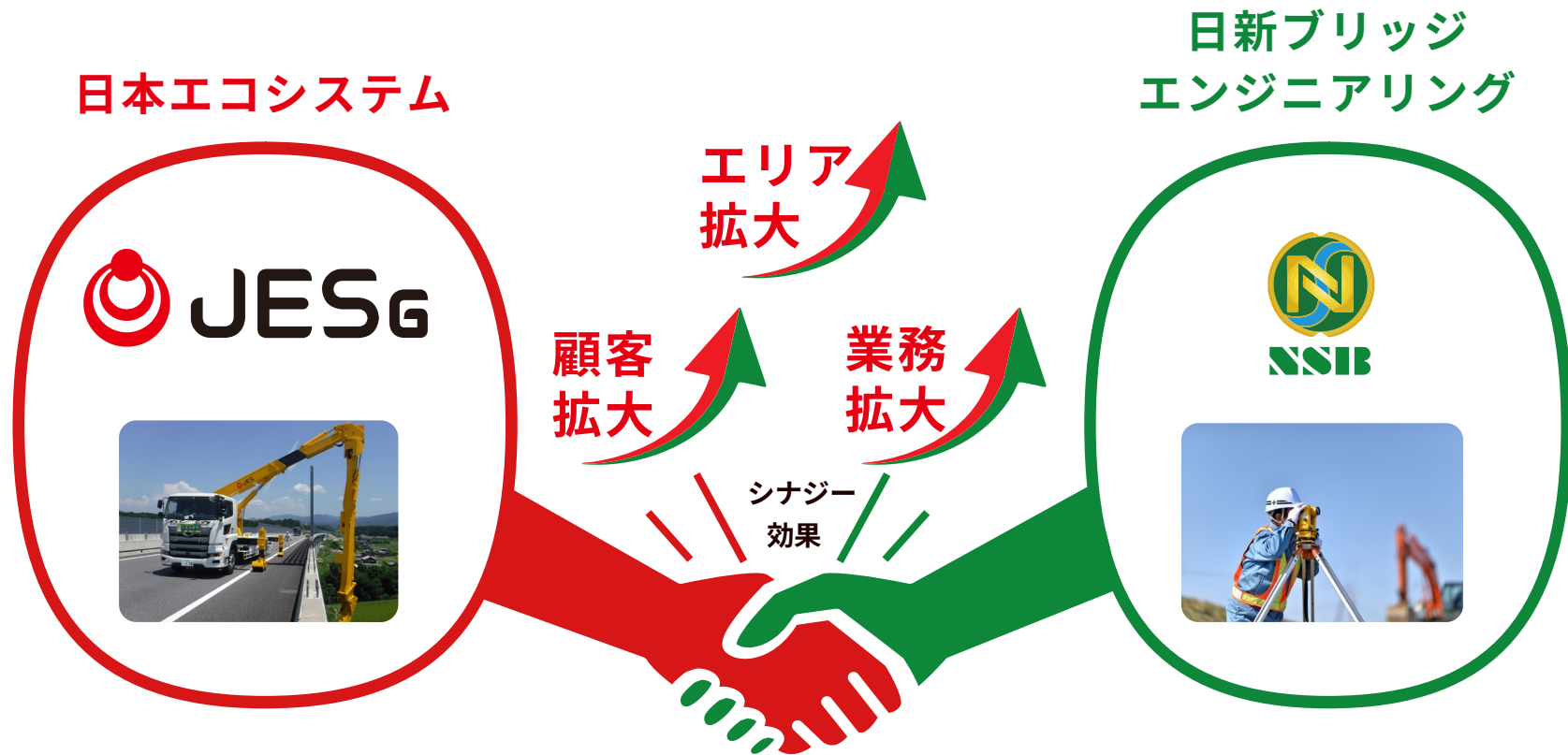


過去トピック 交通インフラ事業



M&Aによるエンジニアリング領域の拡張・拡大

橋梁点検や調査補修補強設計等を中心とする建設コンサルタントを子会社化
相互に **[業務エリア]** **[業務種類]** **[顧客]** の拡大といったシナジー効果を創出



過去トピック 公共サービス事業



2021年10月31日より「地方競馬」の場外発売を開始

新たに地方競馬の発売を開始し、競輪・オートレース・競馬の3競技が楽しめる全国でも珍しい**複合型場外発売施設**へ



地方競馬の発売開始

地域のお客様の楽しみを増やす憩いの場を目指し、地方競馬の取扱いを開始。
様々なイベントの実施やサービスの向上を図り、地域に根差し皆さまに愛される複合型場外発売施設を目指す。



過去トピック 公共サービス事業

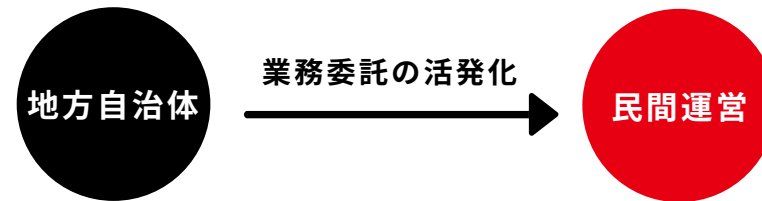


包括業務、機器設置・工事への積極的な営業・入札参加

近年、民間へ運營業務を委託する動きが活発化
 2022年初夏にも東北地方に新たな競輪場外施設のオープンが予定されるなど
withコロナの時代においても高まる需要を積極的に取り込む

デジタルサイネージやキャッシュレス投票機器の導入などの人員を伴わない非接触型でのユーザビリティ機器の需要高まり

競輪本場数43場のうち、2016年時点で16場だった民間委託場が2022年では25場へ増加。業務の包括化においても需要の高まり



[2021年9月期 入札参加状況]

新規包括入札 1件
 継続包括入札 2件

過去トピック 公共サービス事業



競輪業界“初”のAI予想システム

タイプの違う2種類の予想エンジンをキャラクター化しブランディング
公営競技業界の次期メインターゲットとなる若年層へ響くアプローチ



如月 サライ

Type S

当たると大きい
破壊力抜群の
予想エンジン

Analysis

過去の膨大なデータから分析

AI予想の
3つの特徴

Extract

開催場・バンクの
特性にあったデータを抽出

Challenge

AIが競輪の
的中予想に挑戦

的中率を
重視した
予想エンジン



蒼月 アイリーン

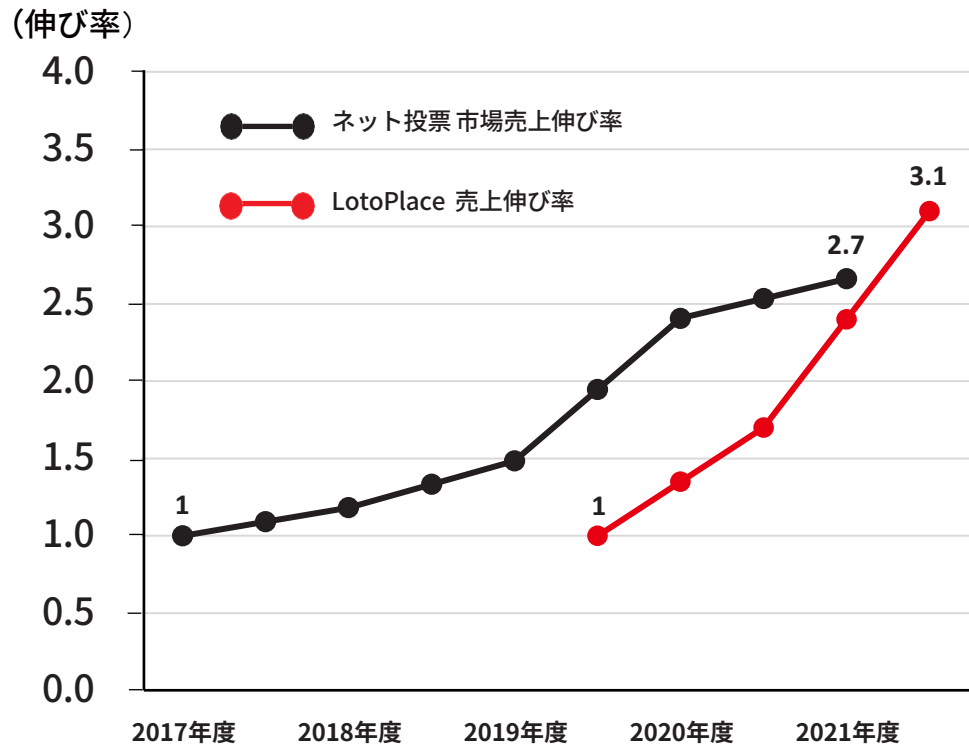
Type A

過去トピック 公共サービス事業



新型コロナの影響もありデジタル化（=ネット投票）が急激に伸長

競輪業界“初”のAI予想システムで他投票サイトとの差別化
 キャンペーン等PRによる知名度向上を図り、加入者数の継続的な増加を狙う



※上記グラフは、起点を1とし現時点までにどれだけ伸長したかの倍率を示す

競輪・オートの新券・くじ購入のオフィシャルサイト



過去5万レースのデータからAIによる予想が実現。2019年度よりサイト稼働し、順調にユーザーが増加。



AI予想の活用で初心者でも難しい競輪予想が簡単に。さらにアプリ化で気軽に情報取得ができるように。



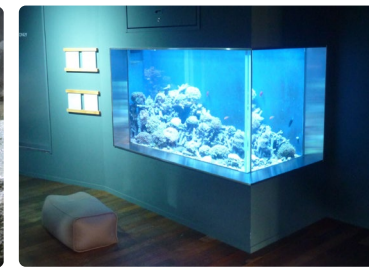
過去トピック 環境事業



「水循環システム」の施工実績

当社が水循環システムの施工を行う
神戸市の学校跡地を再利用した「みなとやま水族館」がオープン

みなとやま水族館 (2022年7月完成)



水循環システム実績

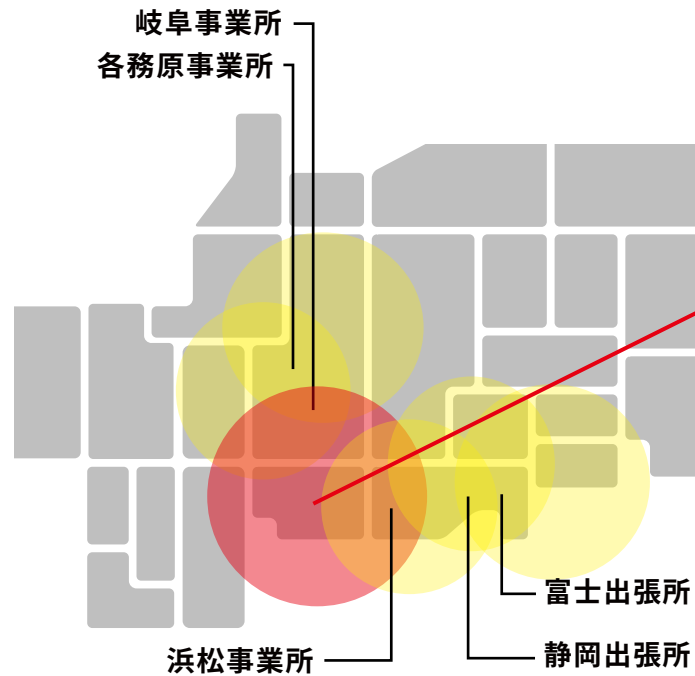
宮島水族館、スマートアクアリウム静岡、串本海中公園センター
みなとやま水族館など

過去トピック 交通インフラ事業

新規の事業所開設(愛知県豊田市)

業務エリアの拡張、隣接エリアへの支援、移動コストの削減などを図り
お客様のニーズに迅速かつフレキシブルに対応できる環境を整える

交通インフラグループ拠点



豊田事業所



面積

1541.60㎡ 465.74坪
4Tトラック 約20台分

アクセス

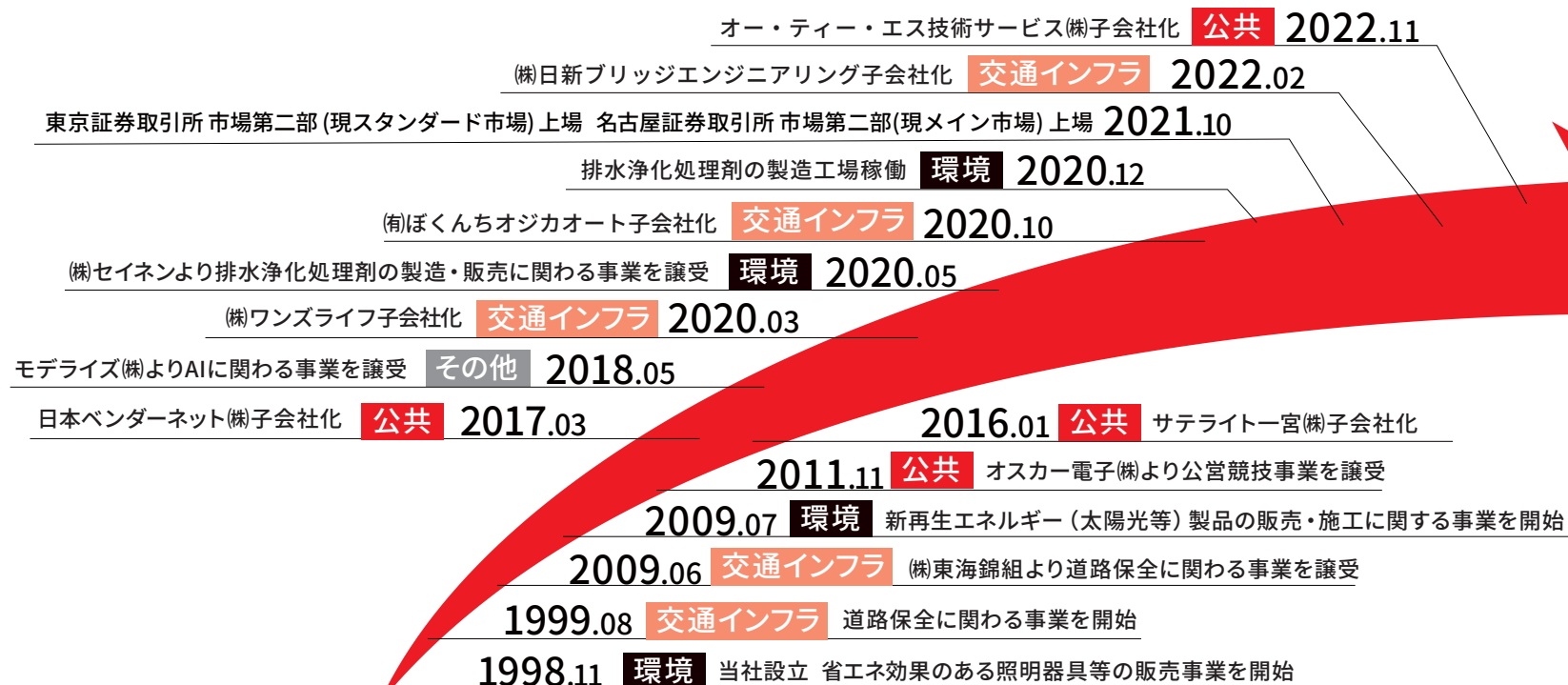
豊田IC 5分

VII 会社概要

会社概要



会社名	日本エコシステム株式会社	資本金	761,166,638円
設立	1998年11月	決算期	9月
会社所在地	愛知県一宮市本町二丁目2番11号 JES一宮ビル	発行済株式数	2,675,500株
代表者	代表取締役社長 松島 穰	従業員数	421名(平均臨時雇用人員含む) ※22/9/30時点
事業内容	公共サービス事業	監査法人	EY新日本有限責任監査法人
	環境事業	上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場 名古屋証券取引所 メイン市場
	交通インフラ事業		



社是・経営理念

「社是」

み

こう

どう

未
晃
道

未来の地球を照らし、
輝き続ける事業を創造します。

「経営理念」

事業を通じ、

物心両面の幸福を追求すると同時に、
かけがえのない地球環境の
維持にも貢献します。

事業概要



事業区分及び主な事業の内容

当社グループは計9社で構成されており、社会インフラサービス企業として公共サービス事業、環境事業、交通インフラ事業に取り組んでいます

区分	主な事業の内容	主な関係会社
公共サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> 公営競技場における、トータリゼータシステムの設計・製造・販売・機器設置及び一般事業者も含めた空調衛生設備等のファシリティに関わる事業 公営競技場における、トータリゼータシステムのメンテナンスに関わる事業、AIによる競輪予想サービス・警備・清掃等の運営業務に関わる事業 	当社 日本ベンダーネット(株) サテライト一宮(株) 中央警備保障(株) オー・ティー・エス 技術サービス(株)
環境事業	<ul style="list-style-type: none"> 排水浄化効率を促進させる製剤の研究開発、製造及び販売業務に関わる事業 産業用太陽光の再生可能エネルギー発電設備の設計、施工、保守等業務に関わる事業 	当社 JESテイコク(株)
交通インフラ事業	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路を中心とした構造物点検、電気通信設備・ETC保守、交通管制業務、道路照明灯保守等の道路エンジニアリングに関わる事業 高速道路を中心とした維持修繕工事、事故・災害復旧工事、雪氷対策作業、土木工事、交通規制等の道路メンテナンスに関わる事業 	当社 (株)ワンズライフ (有)ぼくちオジカオート (株)日新ブリッジ エンジニアリング
その他	<ul style="list-style-type: none"> システム保守業務、AI技術を活用したICTソリューションの提供に関わる事業 不動産の仲介、売買、賃貸等不動産に関わる事業 	当社

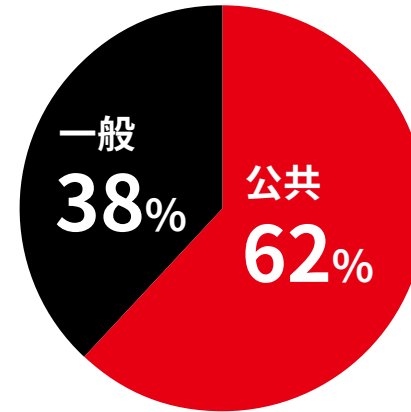
事業概要



当社事業の特徴

BtoP (Public)
を中心とした
安定性の高い領域で
事業展開

2022年9月
売上構成比



当社グループは参入障壁の高い3セグメントより構成

公共サービス事業

自治体が主催する公営競技における運営サービスを展開。川上のシステム設計から川下の施設運営までを一気通貫で提供する事により差別化。

環境事業

再生可能エネルギー事業に加え、排水処理事業を開始。将来の主力ビジネスに育成中。

交通インフラ事業

主に自治体・中部エリア高速道路会社からの委託を受けて構造物点検や電気通信設備・ETC等の保守サービスを展開。高度な安全技術で高付加価値の高い収益性を実現。

事業概要



当社グループとセグメント

エンジニアリング・メンテナンスを強みに公共施設・環境関連向け「社会インフラサービス企業」として事業展開

得意先 (Public : 地方公共団体・高速道路運営事業者等)



【排水浄化処理事業】

排水浄化設備のメンテナンス
排水浄化効率促進剤の
製造・販売

【再生可能エネルギー】

太陽光発電設備の
販売・施工等

公共 サービス

公営競技施設
設備の
保守・運営等



人財・機動力

エンジニアリング
メンテナンス

環境

交通 インフラ



【エンジニアリング】

高速道路付帯設備(ETC等)
の維持・管理、
LED照明設備の設置等

【メンテナンス】

高速道路の橋梁点検、
事故処理・雪氷対策等

環境事業

ビジネスモデル

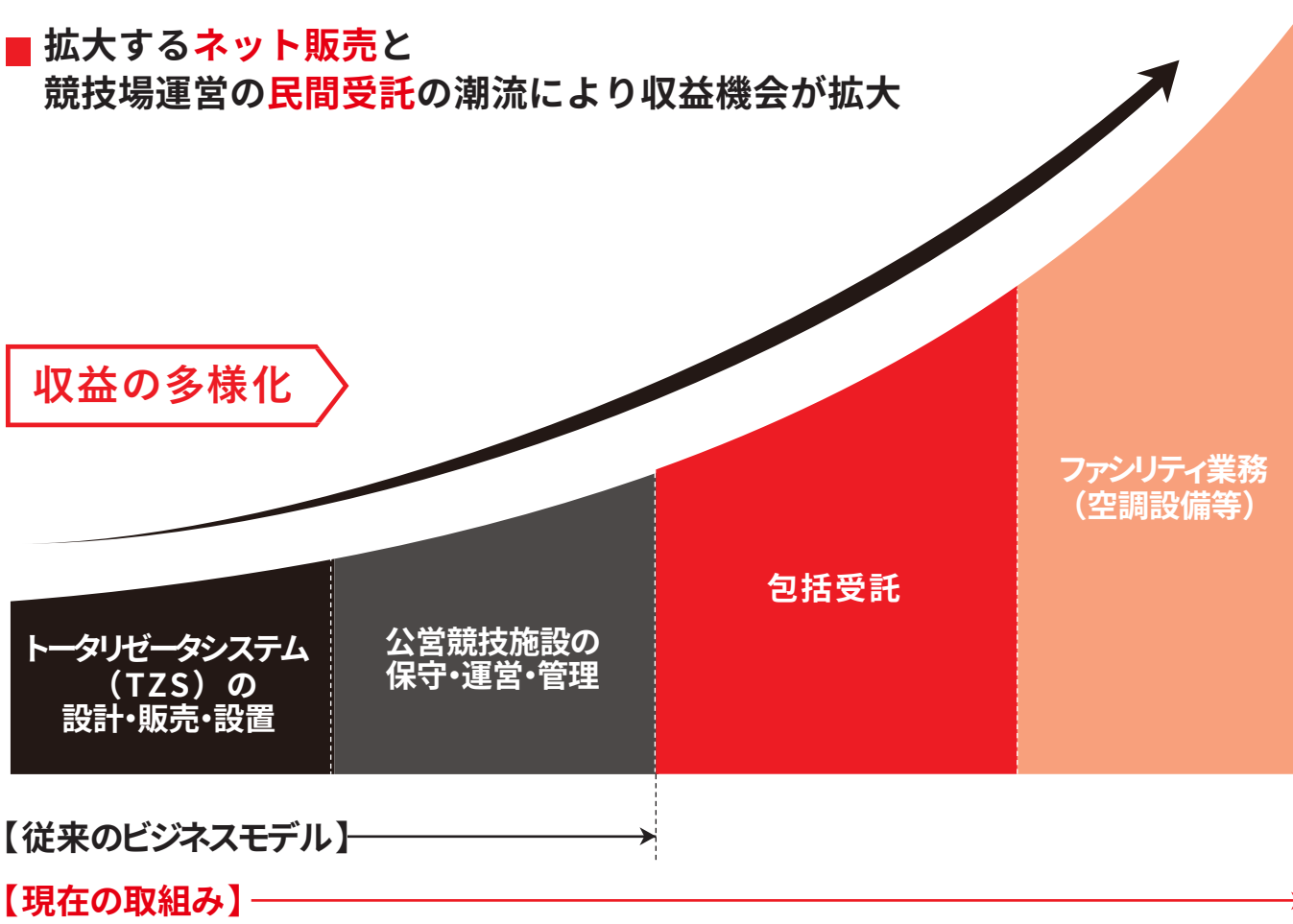
- 2020年より排水浄化処理事業を開始、将来の主力ビジネスに育成中
- 産業用太陽光発電設備の施工及び売電が現在の主力事業



公共サービス事業

ビジネスモデル

- 公営競技運営業務を**一気通貫**で提供する事により差別化
- 拡大する**ネット販売**と
競技場運営の**民間受託**の潮流により収益機会が拡大



- 1 運営事業者が個別に発注していた業務を包括的に受託
業務効率化等により収益率が向上
- 2 AI予想、ネット販売サイトの運営
- 3 場外車券場を運営
- 4 空調設備等のファシリティ業務

交通インフラ事業

ビジネスモデル

- 高速道路上のエンジニアリング & メンテナンスに特化
- 高度な安全技術で高付加価値の高い収益性を実現



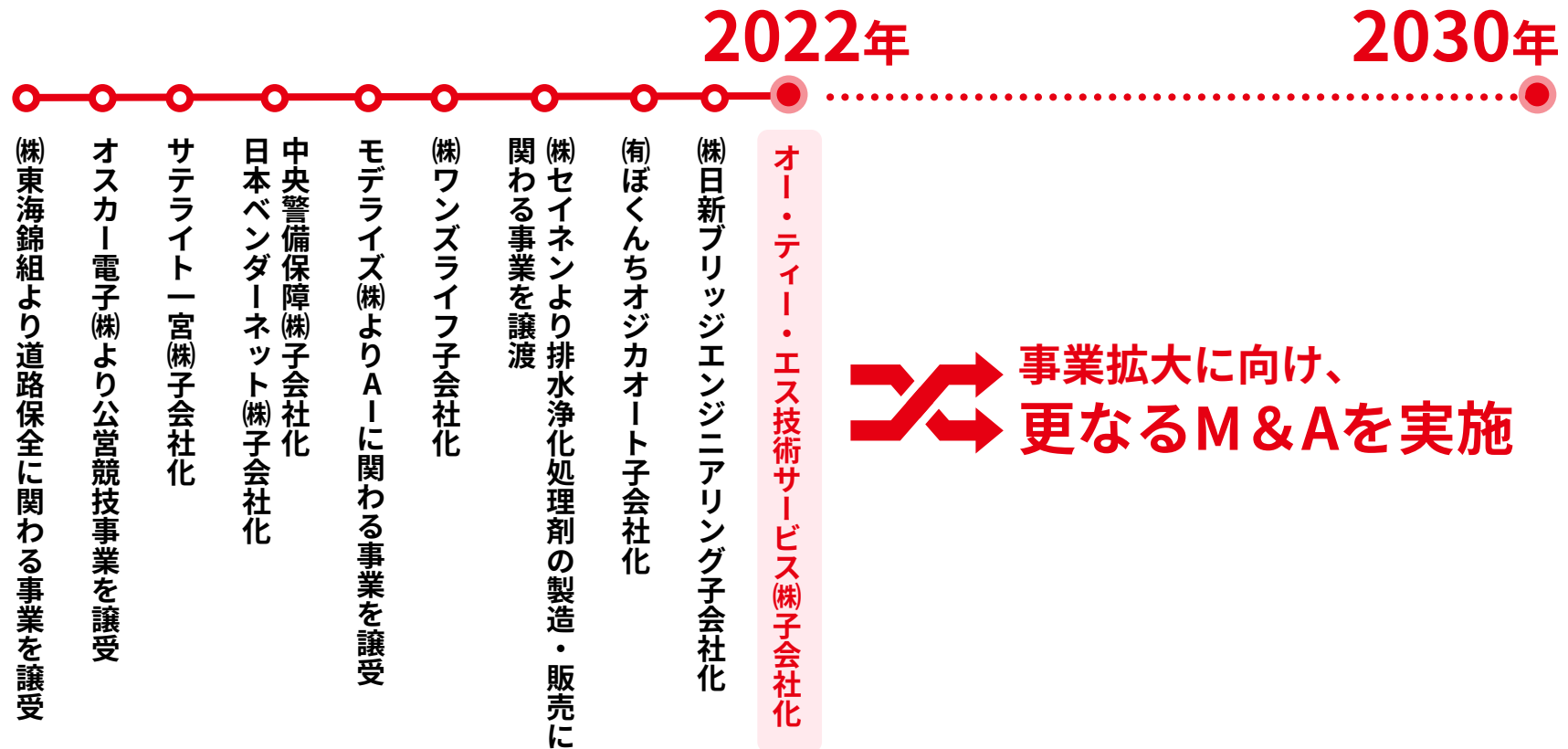
- 高速道路上のエンジニアリング & メンテナンスに特化し、高度な安全技術で付加価値の高い収益性を実現



- 図面作成から点検保守、施工管理まで多種多様な交通インフラ業務を一貫してサポート

M&Aの積極的な推進

各事業セグメントとのシナジー創出を実現する案件情報を継続的に収集し
事業成長に向け「これまでも・これからも」M&Aを積極的に推進いたします



トップメッセージ



環境社会をリードし、300年続く永続企業へ

企業においても多様性と包摂性が求められる中、企業として常に時代の先を見据え、
未来の地球を照らす事業を創造し続けることで、より一層の企業価値の向上に努めてまいります。



代表取締役社長

島 薮 圭

本資料における注意事項



本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

本資料及び当社IRに関するお問合せ先

管理本部IR担当



0586-64-9249



ir.jesg@jp-eco.co.jp

